

No.4 駅周辺 まちづくりニュース

このまち、もっと好きになる。

Vol.2

発行日：令和7年10月

モノレールの延伸を見据えた（仮称）No.4 駅（以下「No.4 駅」）周辺のまちづくりを検討するため、地域のみなさまと武蔵村山市が協力し、協議会を実施しています。
このニュースでは協議会の様子をお届けします。

第2回協議会を開催しました！

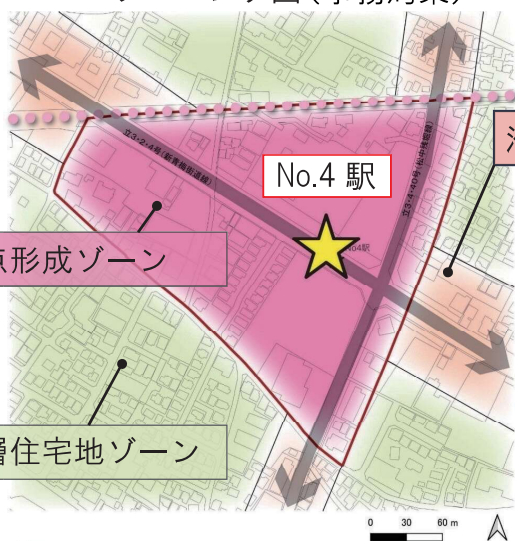
はじめに ...

令和7年9月27日（土）に第2回 No.4 駅周辺まちづくり協議会を開催し、活発な意見交換が行われました。

今回は「土地利用・景観」をテーマとして協議を行いました。



ゾーニング図（事務局案）



委員意見の振り返り

事務局より、第1回まちづくり協議会及び協議会開催後に出された意見の要旨について確認しました。

質疑応答では、多世代交流施設の検討に際しての追加意見が出されました。

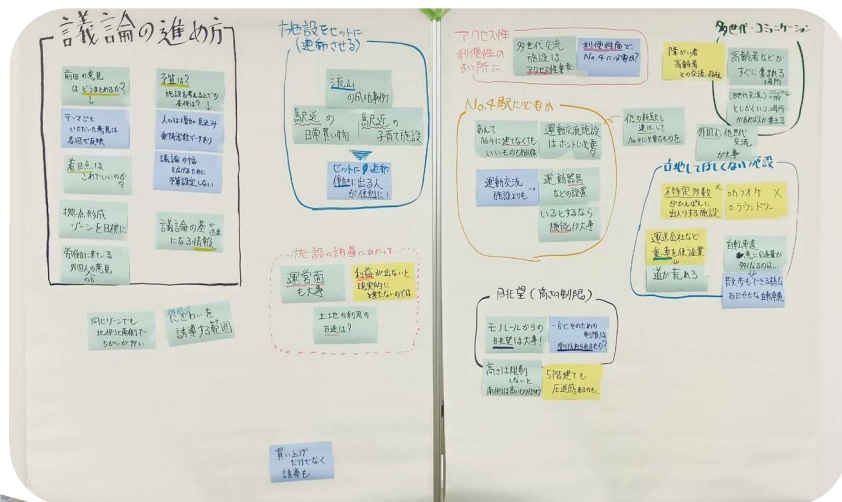
また、意見の収束方法や、提言書のまとめ方などについての意見が出されました。

意見交換

「土地利用・景観」について

土地利用については No.4 駅周辺にほしい施設やあってほしくない施設についての意見が出されました。

また、景観については眺望を守るための建物の高さについての意見等が出され、これらの結果を付箋を用いて簡潔に整理しました。





No.4 駅周辺の 土地利用・景観について

No.4 駅周辺にほしい施設

生活が便利になる施設

- 駅の近くに子育て支援施設や食料品店等を誘導することで、都心で働く子育て世帯の生活利便性が向上する。

運動交流施設

- フィットネスジムは市総合体育館の他、民間施設等も様々な所にある。誘導に当たっては機能や利便性、他の拠点施設との連携について、検討することが重要である。

多世代交流施設

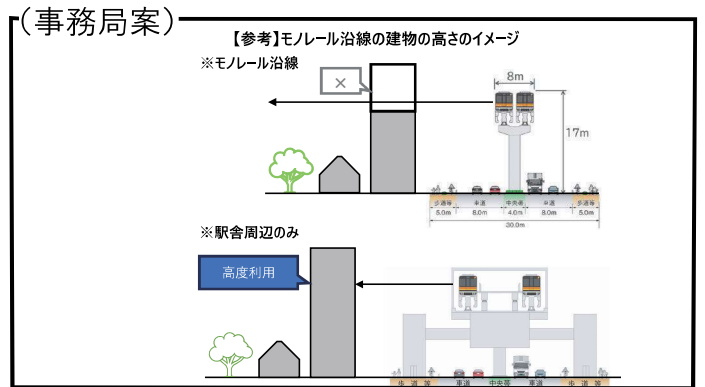
- 障害者や高齢者の方など、「交流したい。」という気持ちがあっても諸問題がある方のことにも配慮する必要がある。
- 地元住民が集まる場所の確保や市の西側に公共施設が少ないことから、当地区に多世代交流施設が立地することは意義がある。
- 気軽に集まれるようなアクセスしやすい施設にして欲しい。

あってほしくなれない施設

- カラオケボックスやゲームセンターなどは好ましくない。
- 大型車両の交通量が増えることで生活道路の状況が悪化するような施設は立地してほしくない。
- 野山北公園自転車道は、程良い散歩道になっている。自転車がスピードを出して行き交うようになると困る。

建物の高さや景観について

- モノレールからの眺望はとても大切だと思う。高い建物が建てられた後に市民の反対運動が起こったケースもある。そうならないよう、しっかり抑えていくべきと考える。
- 武蔵村山市の落ち着いた住環境が良いという人もいる。厳しい高さ制限を設けても良いのではないか。
- モノレールの南側は高い建物が建ちやすくなる。モノレールからの眺望を考えると、高さの制限は必要だと思う。



その他のご意見

- 多世代交流だけでなく異文化交流も検討していく必要がある。
- 日影の問題などモノレールの北と南で異なる部分も多い。北と南での地域差を踏まえて検討する必要がある。

📍 次回とこれからの流れ

次回「第3回協議会」

日時	令和7年11月15日 午前9時30分から (2時間程度)
場所	武蔵村山市役所 本庁舎4階 中部地区会館 401大集会室
テーマ	道路・交通など

01

最初

キックオフ

- ・自己紹介
- ・趣旨説明
- ・意見交換
- ・第1回協議会

今回!

02

中間

テーマ別協議 【テーマ】

- ◆土地利用
- ◆道路・交通ネットワーク
- ◆景観形成 など
- ・第2回協議会
- ・第3回協議会
- ・第4回協議会

03

終わり

提言書の 検討

- ・協議の結果を
取りまとめ
- ・第5回協議会
- ・第6回協議会

問い合わせ先 武蔵村山市 都市整備部 都市計画課 沿線まちづくり係

TEL:042-565-1111 (内線 279)

ホームページ <https://www.city.musashimurayama.lg.jp/shisei/shisaku/machizukuri/1002063/1017864/1021288.html>

